

曲輪、堀、土塁を配置するのが城の普請として正統的な方法です。

田原城は山城ではありませんし、平地に立地する平城でもありません。

田原城の構造

前回、城の「格」についてふれました。城の石垣、堀、天守閣などは、モニユメントとして封建社会の権威を示し、それが「格」として認識されますが、城の構造についても同じことが言えそうです。

図を見てみましょう。城の中心はもちろん本丸です。急峻な山で敵の侵入を拒む山城は別として、この本丸を守るために、取り囲むように

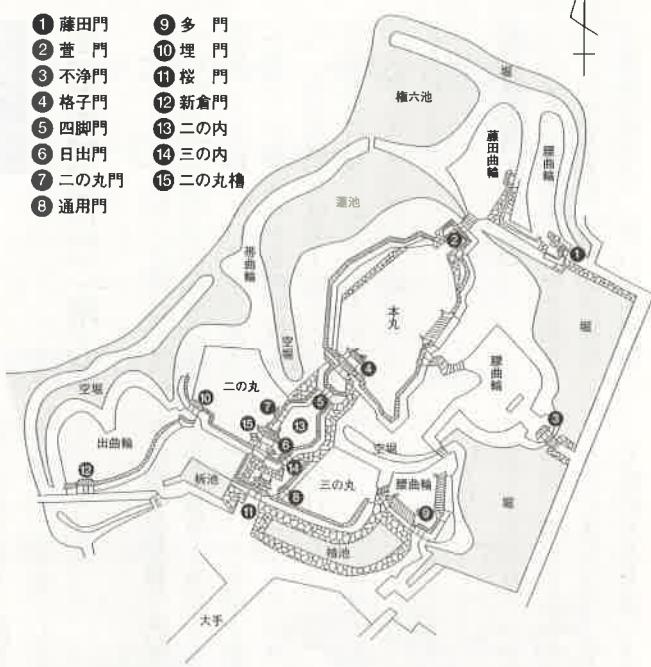
本丸と平地との高低差は13mほどで、これでは東側から本丸は丸見えで、何の障害もなく容易に敵に攻められてしまいます。

本丸と平地との高低差は13mほどで、これでは東側から本丸は丸見えで、何の障害もなく容易に敵に攻められてしまいます。

●東から見た田原城跡（写真中央。現在では城の全景を見ることはできない。）

田原城の曲輪等の名称

- ① 藤田門
- ② 蓬門
- ③ 不淨門
- ④ 格子門
- ⑤ 四脚門
- ⑥ 日出門
- ⑦ 二の丸門
- ⑧ 通用門
- ⑨ 多門
- ⑩ 埋門
- ⑪ 桜門
- ⑫ 新倉門
- ⑬ 二の内
- ⑭ 三の内
- ⑮ 二の丸櫓



●田原城図

- *1 【曲輪】城内で堀・土塁などで区画された敷地のこと。本丸・二の丸など。
- *2 【普請】土木工事のこと。

▽ 田原町博物館 22周1720

【人口と世帯数】

総人口	36,874人
男性	18,826人
女性	18,048人
世帯数	11,542世帯
出生	31人
転入	92人
増減	-22人

(平成15年1月1日現在・増減は12月中)

【行政面積】82.86 km²

(平成11年10月1日現在・国土地理院調べ)

「人の心は石でできているわけじゃない」「人の心には奪うことのできないものがある…それは希望です」▼映画『ショーシャンクの空』では、無実の罪で投獄された主人公が、長く悪夢のような獄中生活の中でも決して希望を捨てず、最後は自由を手にする様が描かれています。そこから学ぶことができるのは、どんな環境に置かれても、どんな年齢でも、「希望＝心の豊かさ」を持続続けることが、人が人らしく生きるために必要だということです。▼私たちには「希望」を持つ権利があります。しかし一方で、希望をかなえるためには「努力」が、希望をかなえたら「責任」が必要なことも忘れてはいけません。▼成人を迎えた皆さんには、大きな希望があることでしょう。その希望がかなうかどうかは、あなたの次第です。（写真・階段を一段一段登るように前に進もう。）